

戦車才八聯隊行動記録

| | | | | | |
|--|---|--|--|-----------------|------------|
| <p>一七、一六、二六 一八、四、三〇</p> <p>南太平洋戦</p> | <p>一、ラバウル附近の警備（全期間）位置南崎 八十一月下旬より三月上旬まで修理一ヶ小隊を以て八発 警備援助を実施す 二、二月中旬より戦車六輛を以て南飛行場設定援助を実施 す 三、集成自動車中隊（黒川中尉以下一〇〇名）を編成ラバ ウル軍需品輸送を実施す 聯隊長 米原大佐以下七〇〇名</p> | <p>一八、五、一 一八、一〇、三一</p> <p>キ一次 ビスマルク戦</p> | <p>一、ラバウル附近の警備及築城作業（全期間）位置南崎 八八月聯隊長はココボ地区隊長を命ぜられ全力を以て陸 正面陣地構築を開始す 聯隊長 米原大佐以下七八〇名</p> | <p>戦死 三</p> | <p>一九七</p> |
|--|---|--|--|-----------------|------------|

0202

一八一、一
一九三、二四

オ二次

ビスマルク戦

ニ、ラバウル附近の警備及築城作業（全期間）位置南崎、グ
ナンボ

1. 聯隊主力はグナンボ戦車出撃根拠地構築及ビタカリツ
ブ附近攻撃拠点構築

2. 昭和一九三、四オ三戦車中隊長（中隊長押尾大尉以下一
九〇名）南海オ四、守備オ一戦車中隊長（中隊長甲斐中
尉以下一〇〇名）ニューアイルランド島に派遣し伊東
兵団長の指揮下に入らしむ

3. 配属部隊

(イ) 昭一九一、二、三〇南海オ四守備隊オ一戦車中隊長（中隊長
長甲斐中尉以下一〇〇名）同オ二戦車中隊長（中隊長
安岡中尉以下一〇〇名）配属せらる

(ロ) 十二月南海オ一支隊戦車中隊長（中隊長熱海大尉以下
五〇名）配属せらる

(ハ) 十二月機動歩兵大隊の編成を担当せしめられ（大隊
長千代倉少佐以下三〇〇名）編成完結後配属せしめ
らる

一九三三、三五
一九一〇、三〇

オ三次
ビスマルク機

対空射撃部隊約一五〇名MG（各中隊各二〇名宛）
聯隊長 米原大佐以下一〇五〇名

一、ラバウル附近の警備及築城作業（全期間）位置グナンボ
二、主力はグナンボ根拠地構築対空射撃（各隊約二〇名MG）
三、戦車オ三、四中隊対空挺戦斗準備のためウラトハ、ナ
ハバル附近に配属す

三、六月初旬約一箇月を目途し歩兵大隊（千代倉少佐以下
一五〇名）中街道（足羽山……西飛行場）構築に従
事せしむ

編成改正（一九三七二五）

編成部隊 機動歩兵大隊（二〇〇）南海オ四守備隊オ二
二戦車中隊（一〇〇）南洋オ一支隊中隊（五〇）
転属部隊、戦車オ三中隊（一九〇）歩兵オ二百三十聯
隊ハ（仁島）

聯隊長 米原大佐以下一〇四五名

戦死

四

一九九

0204

| | |
|--|--|
| <p>一九一、一 二〇、四、二〇</p> <p>才四次 ピスマルク戦</p> | <p>一、ラバウル附近の警備及築城作業（全期間）位置グナンボ ノ主力はグナンボ根拠地構築及各方面機動路熱海岸出撃 拠点増強、対空挺陣地補修対空挺射撃部隊（各隊約二 〇名宛）</p> <p>2、十一月月末を目途とし各隊集成（千代倉少佐以下一八 〇名）作戦支揚点（東西ナマレ道北部）構築に従事</p> <p>3、十一月同じく同末を目途とし戦車才三中隊（安岡大尉 以下全力）大割谷附近出撃陣地及機動出雲路構築に従 事す</p> <p>4、教育訓練現地自活 肉攻訓練戦車射撃戦車夜間戦斗対空挺戦斗 聯隊長 米原大佐以下一〇四〇名</p> |
| <p>二〇、四、一五 二〇、八、一五</p> <p>才五次 ピスマルク戦</p> | <p>一、ラバウル附近警備及築城作業（全期間）位置グナンボ ノ七月より主力は作戦支揚陣地東ゴム林附近に於ける支 揚空地構築</p> |
| <p>戦車 戦死 戦傷</p> <p>七一一</p> | <p>戦死 戦傷</p> <p>一一二</p> |

参
考

2. 訓練

肉攻対空挺戦斗戦車夜間攻撃

聯隊は昭和十八年二月才八方面軍の隷下に入り初めは南崎後グナンボに位置シラバウル附近の警備に任ずると共に戦車出警根拠地及ラバウル要域内戦車出警根拠點海灘動路構築に従事しつつ教育戦斗訓練或は現地自活に精進し銳意ラバウル決戦準備に邁進せり

0206

101